

ごあいさつ



一般社団法人 北海道高齢者向け住宅事業者協会 会長 本見 研介

当協会は、2014年9月6日に「任意団体北海道高齢者向け住宅事業者連絡会」を解散し、「北海道高齢者向け住宅事業者協会」として新たな一步を踏み出しました。そして同年10月1日には、一般社団法人としての活動を正式にスタートさせました。

初代会長・奥田龍人氏は、10年にわたり「道内高齢者向け住宅の質の向上」に尽力され、現在では、多くの高齢者住宅が安心・安全な住まいとして認識されるようになりました。その功績は利用者をはじめ関係機関からも高く評価されました。

さて、私は昨年6月に二代目会長に就任して以来、これまで築かれてきた協会の歩みに深く敬意を払いながら、次のステージを見据え今後どのような方向性を持って進むべきか、さまざまに思案を重ねてまいりました。これから取り組むべきものとしては、特に、会員同士の連携強化やICT等の導入を促し、効率的な運営でよりサービス品質を向上させ、みなさまの信頼とご期待にお答えすることかと思っています。

一方で、私たちを取り巻く環境は依然として厳しく、物価高騰や人材不足といった課題に加え、高齢者の皆さまが抱える年金問題や医療不安、身寄りのない現実など、解決すべき課題は山積しております。だからこそ、私たちは知恵と工夫を凝らし、挑戦を恐れず前進を続けていく所存です。

会員の皆さま、そして関係各位におかれましては、どうか当協会の活動にこれまで以上のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025.4月